

ISSN 2435-0532

尚絅子育て研究センター

# 児やらい

尚絅子育て研究センター  
20周年記念誌

20th Anniversary

*koyarai vol.17 2020*

Child-rearing to generate mutual recognition  
Child Studies Center at Shokei

第17巻（臨時増刊）2020年



## はじめに

尚絅子育て研究センターは、今年度20歳の誕生日を迎えました。はじまりは、平成12年6月1日より尚絅短期大学附属の研究機関として、「将来の幼児教育学科を展望した時に、子育て支援への要請に応えるためには、子育て全般に関わる総合的研究を行う必要性がある」ことから設立されました。さらに、平成15年度に研究紀要として『児やらい』第1巻が創刊されました。

当時、保育園・幼稚園の現場からは、「子育てに関する総合的な知識、情報、理論及び子育て実践へのアドバイスを求めている」、家庭、地域の子育てにかかわる人々及び団体からは、「孤立した家庭での子育てを営む親の状況を踏まえた子育て支援施策への具体的助言を求めている」という要請が本学に寄せられていました。その背景には、児童福祉法の改正により、保育所に対して地域の子育て支援センターとしての役割が期待されるようになり、行政機関においてもエンゼルプランをはじめ、国をあげて子育て支援に取り組む時代に入ったということがあげられます。

あれから20年が経過した現在、子育て支援の需要はますます高まっています。しかも、深刻な貧困や児童虐待などが地域に広がるとともに、保育の現場においても子どもたちの姿を通して、厳しい生活状況や家族関係が垣間見られるようになってきました。そして、子どもが笑顔で健康に過ごせるために、家庭への支援や親子をつなぐこと、子どもが安心して過ごせる集団や環境をつくることなども保育の課題として取り組まれるようになりました。

尚絅子育て研究センターにおいても、平成27年度から毎月定例で開催してきた「乳児保育研究会」で、まさにこのような課題に触れながら、掛け替えのないその一人の子どものことについて、その子に届く保育について、保育者と研究者が共に自らの専門性を発揮しながら共同研究を行ってきました。また、近年の公開シンポジウムでは、子どもの真の思いや願いを理解することを出発点とした保育の創造をテーマに、各分野の講師を招聘して学びを深めてきました。

これらの取り組みの基礎になるのは、当研究センター研究員の研究蓄積があればこそだと思います。子どもの姿というのは、様々な視点からトータルにとらえることが重要となります。また、子どもの姿に対応した各領域における保育内容は、実践と省察、その省察の拠り所となる理論が必要不可欠であり、そこに私たち研究者がかかわっていく役割と使命があるのだと思います。本誌は、そのような思いを込めながら、次の20年先を見据えた保育・教育・子育て研究をめざし、各研究員の論文集とさせていただきました。お手に取って、ご一読いただけたら幸いです。

令和2年5月20日

尚絅子育て研究センター長

増淵 千保美

# 目 次

## はじめに

### I. 論文

1 領域「人間関係」の変遷に関する研究	3
	生野 金三
2 小学校学習指導要領に関する研究 －新旧「総合的な学習の時間」の対比とその考察－	15
	生野 金三
3 領域「人間関係」の指導法に関する研究 －P D C Aサイクルによる人間関係を育む保育の立案－	29
	片桐 真弓
4 子育て支援の現状と保育者に求められる専門性	43
	栗川 直子
5 領域健康における安全に着目した指導方法に関する研究 －幼児教育における安全の射程に着目して－	53
	佐藤 亮平・石立 克己
6 領域「健康」の内容に関する研究 －“身体”的持つ有用性に着目して－	63
	佐藤 亮平・石立 克己
7 子どもの能動性を守る保育・幼児教育 －幼保連携型認定こども園における保育者の子ども理解と保育実践から－	75
	柴田 賢一
8 生の発現としての効果音と静寂としての無効果音の共存 －音入り絵本読み聞かせにおける意味のあり方－	85
	曾田 裕司
9 腰の痛みへの不安から膝立ち姿勢が取れないと訴えた 脳性まひのある青年期前期女性への臨床動作法の適用 －主体的な取り組みを促した援助の在り方について－	97
	本吉 菜つみ
10 特別活動の基盤に関する研究 －「自由研究」「教科以外の活動」「特別教育活動」を通して－	111
	生野 金三・香田 健治
11 触覚を意識した造形の授業実践に関する考察 －「手でみる造型展」への参加を見据えた「専門研究Ⅰ・Ⅱ」における実践－	121
	坂本 健
12 保育現場における教育相談の課題 －教育相談の新しい方向性を求めて－	139
	小川内 哲生・栗川 直子・龍 祐吉
13 領域「環境」の指導法に関する研究 －保育学生による指導計画案作成と模擬保育の検討を通して－	149
	二子石 諒太
14 領域「表現」の研究 －指導法のあり様を志向して－	167
	生野 金三・曾田 裕司・森 みゆき・高塚 桂子
II. 研究ノート	
1 保育者・教員養成の目標についての試論 －熊本県・熊本市教員育成指標と保育者の専門性をもとに－	189
	柴田 賢一
編集後記	199